

事業群評価調書（令和7年度実施）

基 本 戦 略 名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管理所属・課(室)長名	地域振興部 県庁舎跡地活用室	松島 勝久
施 策 名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事 業 群 関 係 課 (室)		
事 業 群 名	③ 県庁舎跡地の整備の推進	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	5,620

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
長崎市の中心部に位置する県庁舎跡地において、様々な交流の場や憩いの空間を整備し、この地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創出を進めます。なお、早期に賑わいを創出するため、使用可能な箇所から先行して活用を進めていきます。						i) 県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討 ii) 長崎市の中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設 iii) 賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり				
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	（進捗状況の分析） 整備に向けて民間事業者等へのマーケットサウンディングを実施した結果、民間活力の導入の検討を含め、整備に向けた基本計画の策定を進めることとした。 また、公共で整備する機能の配置イメージ案や今後のスケジュール案を整理し、公表した。
	県庁舎跡地の整備（賑わいづくりに向けた先行整備） ※R5で（総合計画一部改訂）	目標値①		供用開始					供用開始 （R3年度以降）	
		実績値②	—	供用開始	—	—	—		進捗状況	
		達成率②／①		—	—	—	—		達成	
	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	
	県庁舎跡地の整備（基本設計） ※R6から（総合計画一部改訂）	目標値①				—	着手	着手	着手 （R6年度以降）	
		実績値②				—	—		進捗状況	
		達成率②／①				—	—		—	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等		
				R5実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R5目標	R5実績	達成率			
				R6実績					R6目標	R6実績				
				R7計画					R7目標					
				事業実施の根拠法令等										
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象				
所管課(室)名														
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	88,518	40,018	53,613	●事業内容 県庁舎跡地における賑わい・交流の場の創出を推進するため、基本構想の具体化に向けた調査等を実施するとともに、跡地の暫定供用を継続実施。 ●実施状況 基本構想の具体化に向けて民間事業者等へのマーケットサウンディングを実施し、公共で整備する機能の配置イメージ案を整理し、公表した。また、暫定供用期間中の賑わい創出のため、イベント開催の支援等に取り組んだ。	【活動指標】 R5:県議会等への整備進捗状況の報告回数（回）	4	4	100%	●事業の成果 ・マーケットサウンディング説明会を実施し、個別対話も含め多くの民間事業者の参加があり、今後の整備に向けた意見交換を行った。 ・本県の食や観光などの魅力を発信するイベントとして、市町や関係団体、庁内各課等と連携し、長崎くんちに合わせた長崎大緑日やランタンフェスティバルに合わせた県産品フードマルシェを開催した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・マーケットサウンディングを通じて、民間事業者の考えを把握することができたため、今後の事業スキーム等の検討を進めていくうえで、有効なものとなった。		
								R6-:県庁舎跡地整備に係るサウンディングの実施（回）	1	1	100%			
									1					
				5,620	5,620	47,304		【活動指標】 R5:検証する機能の種類(種類)	7	7	100%			
								R6-:利活用に向けた市町等への働きかけ回数（回）	10	10	100%			
									5					
			97,853	95,886	47,268	【成果指標】 R6-:県庁舎跡地整備に係る民間ニーズの把握		—	—	—				
								把握	把握	—				
								把握						
			H21-	—				【成果指標】 R5：調査・検証結果の取りまとめ	経過報告	経過報告	—			
			県庁舎跡地活用房	—	—	—		県、長崎市	R6-:市町等と連携した事業の実施回数（回）	2	2		100%	
										2				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	県庁舎跡地に整備する主要機能及びその詳細な機能並びに規模等の検討
ii	長崎市の中心部における県庁舎跡地の歴史を活かした新たな賑わいの場の創設
iii	賑わい創出や交流人口の拡大のための機能等の整備と企画運営の仕組みづくり
●実績の検証及び解決すべき課題 基本構想では、整備する主な機能や利活用イメージについての記載はあるが、漠然とした内容であるため、施設の規模や配置、設備内容や利活用イメージ等について、より具体的な検討を進めていく必要がある。	
●課題解決に向けた方向性 これまでの検証結果や専門家、民間事業者等との意見交換、県議会をはじめとする関係者の皆様のご意見等を参考にしながら、整備に向けた基本計画の策定を進めていく。	

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i ii iii	○	1	跡地活用検討経費	事業スキームを通常の発注だけでなく、PFI事業としての発注の可能性についても検討を行う。	②⑥	関係者や民間事業者、専門家と意見交換を行いながら、整備する建物の規模や配置、事業スキーム等を整理し、整備に繋げていく。	改善
			H21-				
			県庁舎跡地活用室				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】
① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩ その他の視点